

きたきゅ~  
**北Qみらい NO.28**

通巻第70号



[発行]  
〒806-0021  
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3  
コムシティ5階  
北九州市立聴覚障害者情報センター

[連絡先]  
TEL 093-645-1216  
FAX 093-645-3335  
E-mail kitakyu-video@wel-tobata.jp

**新年度のあいさつ****センター長 安藤 薫**

皆さん、お元気でお過ごしでしょうか?

今年の年頭のご挨拶で「災害のない穏やかな一年でありますように」と願った日々から、この数か月で嘘のように一変てしまいました。

「当たり前」の生活は、「当たり前でない」んだと、改めて感じます。各イベントは次々に中止となり、聴覚障害の方へ感染症に関するお知らせをすると同時に、手話・要約筆記・盲ろう通訳の登録者への対応も早急に検討しました。病院への派遣及びガイドについては、現在出来る限り職員で派遣を行っているところです。職員の感染予防対策も進めています。

皆さんにはご不便をおかけしますが、引き続きご理解ご協力をお願いします。一日も早くコロナウイルスが終息し、日本が、世界が元気を取り戻せますように、みんなで頑張りましょう。

**紹介1:新年度(令和2年度)の職員体制のご紹介**

令和2年4月からの職員の配置を紹介します。お近くへいらっしゃる時は、ぜひ、お立ち寄りください。(★印は、派遣コーディネーターです)

**●市立聴覚障害者情報センター (コムシティ5階)**

【センター長】 安藤 薫 (あんどう かおる)  
 【センター主任】 永山 容子 (ながやま ようこ)  
 【ライブラリー】 市吉 哲夫 (いちよし てつお)  
 【盲ろう者関係】 櫻木 奈緒子 (さくらぎ なおこ) ★  
 【専任手話通訳】 門田 和美 (かどた かずみ) ★  
     辻 晴美 (つじ はるみ) 川宿田 清子 (かわしゅくだ せいこ)  
     奥森 由美 (おくもり ゆみ) 友瀬 幹夫 (ともせ みきお)

**●視聴覚障害者情報センター (ウェルとばた6階)**

【センター長】 森 聖子 (もり きよこ)  
 【要約筆記関係】 井本 さおり (いもと さおり) ★  
 【センター庶務】 永手 靖志 (ながて やすし)

**紹介2:退職職員からのメッセージ**

《退職者》市吉 利夫 (いちよし としお) さん

この度、定年を迎える3月末で退職することになりました。在職中は皆様に多くのことを学ばせていただき、人として一歩前進の生き方が少しほとできたのかな・・・と感謝しております。今後もこの職場で培った経験を活かして、皆様に少しでも恩返ししていきたいと思っております。いたらぬ点がたくさんあったと思いますが、大変お世話になりありがとうございました。

最後に皆様のさらなるご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

今まで、本当にありがとうございました。

**報告1:聴覚障害者支援セミナーを開催****令和2年2月2日(日)**

令和2年2月2日（日）13：00～16：00にウェルとばた2階の多目的ホールにて、手話通訳士の森本 行雄（もりもと ゆきお）氏を東京からお招きし、「言葉の壁を超えるコミュニケーション～誰とでも通じるようになろう～」をテーマにセミナーを開催しました。

当日は79名（支援者40名、障害者24名、一般15名）の方に参加いただきました。これまでのセミナーとは趣向が違い、伝言ゲームやC.I.カルタなどのゲーム的な要素が強い体験型の内容となりました。講師は声を出さず、身振りや表情とパソコンの画面をフル活用してセミナーを進めていきます。参加者も会場内では発声と手話は禁止です。最初は戸惑っていた参加者も、視覚情報だけの環境に少しずつ慣れていき、最終的には音がない世界でお互いにコミュニケーションを楽しんでいました。

アンケートには「手話がなくても通じ合えた」、「アイコンタクトの大切さに気付いた」という回答が多数ありました。アイコンタクト（相手の目を見ること）は、聴覚障害者とのコミュニケーションにおいて基本です。それらを講演ではなく、体験をとおして自然と身につけていただけたのは、講師の豊富な指導方法のおかげです。今回は難聴者の方の参加が多く、聴覚障害のある方に関わることが初めての方もいらっしゃいました。今後も聴覚障害支援の輪が広がるようにセミナーを企画しますので、ぜひご参加ください。

**報告2: 北九州市『Net119緊急通報システム』について 令和2年2月14・15日**

令和2年2月14日（土）・15日（日）にウェルとばた2階の多目的ホールで、『Net119』の概要や通報要領・登録のための手続き等について、説明会が行われました。北九州市では令和2年3月2日（月）から運用が始まっています。

『Net119』は、聴覚又は音声・言語機能の障害や疾病等があり、音声による119番通報が困難な方が、スマートフォン等を利用して、全国どこからでも簡単な操作で、音声によらない119番通報をすることができる緊急通報システムです。（ただし、通報場所の消防本部がNet119を導入している場合に限る）

北九州市で登録するには、利用条件（対象者や利用端末）があります。また、利用するにはWebか窓口での事前登録が必要です。

申込方法や利用条件等の詳細については、北九州市消防局指令課のホームページ（北九州市消防局 Net119で検索）で見ることができます。

**★問合せ先★**

北九州市消防局警防部指令課

TEL : 093-582-3823 FAX : 093-592-6805

E-mail : shou-shirei@city.kitakyushu.lg.jp



**報告3：盲ろう者バスハイク交流会****令和2年2月3日(月)**

2月3日、盲ろう者支援サークルひまわり会との共催でバスハイクが行われました。新年会も兼ねて、山口県下関市へ。ぽかぽか陽気で天候にも恵まれ、バスでの往復路は、盲ろう者、支援者の総勢20人でとても楽しい雰囲気でした。下関市へ到着後は、壇ノ浦の合戦で入水された安徳天皇を祭っている『赤間神宮』を参拝しました。朱塗りの水天門がとてもきれいで、空の青に映えていました。昼食会場のレストランの窓からは、北九州の景色が広がり、関門橋もきれいでいた。昼食後に向かった『唐戸市場』では、みなさんそれぞれにソフトクリームを食べたり、お土産を選んで買ったりしました。帰途のバスの中では、今日の楽しかったことを話される人、下関の歴史の話や名産の話をされている人など、思い思いに過ごしていました。

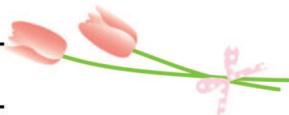
**報告4：全聴情大会までの道のり…。(3)**

大会開催日まで「もう2か月」になりました。早いですね…。

これからは、今まで以上に関係者との細かい部分の打ち合わせも増えてきます。当日動いてもらうスタッフとの打ち合わせ、会場となるホテルスタッフとの打ち合わせ、事務局との打ち合わせ、行政との打ち合わせなど…。いくつもの打ち合わせを重ねていくうちに、『大会開催主催者の大変さ』を実感していくのでしょうね。そして、これまでの大会開催を担当した施設の方たちのすごさやすばらしさを改めて感じていくのだと思います。

もう少し…。心の準備もしっかりと終わらせてから、大会当日を迎える。そんな余裕も持ちはたいと思います。

次号のこのコーナーの内容は『大会の報告』ですね。

**情報1：日本語字幕付き上映日（4月）**

『弥生、三月君が愛した30年』

►字幕上映日 4月19日(日)・20日(月)・21日(火)・22日(水)

☆バリアフリー映画上映情報☆

「字幕メガネ貸出映画館」

アプリ[アプリ名：HELLO!MOVIE]を事前にダウンロードして、字幕メガネで映画を観ることができます。（対象劇場については、事前に確認してください）

『HELLO!MOVIE』は、スマホやスマートグラスで映画の字幕と音声ガイドを楽しめる無料アプリです。

対応作品には、「メガネによる字幕ガイド」「スマホによる音声ガイド」という下記のトレードマークが付いています。

【対象劇場】

福岡県直方市湯野原2丁目1番1号 イオンモール直方内

TOHOシネマズ直方

※聴覚障害者用日本語字幕は字幕表示用のメガネ機器の貸出があります。

ご来場前にご確認ください。

HP検索：<https://www.bfeiga.net/jm>

※映画館で字幕メガネを体験した方は感想を聞かせてください。

協力よろしくお願ひします。



### 紹介3：自主制作『映画の街 北九州ロケ地のクイズと観光スポット』完成

自主制作動画『映画の街 北九州ロケ地のクイズと観光スポット Part 1』が完成し、IPTV『目で聴くテレビ』で4月7日（火）に放送されました。見逃した方は、再放送もありますので、ぜひご覧ください。

また、4月中旬以降に(公財)北九州市身体障害者福祉協会のホームページからYouTube（16分間ノーカット）でも配信予定ですので、お持ちのスマートフォンやタブレットからでも簡単に見ることができます。当センター事業のビデオライブラリーでもDVD版として作成しますので、見ることができます。

ただ今、パート2を作成中です。お楽しみに～♪



### 報告5：派遣事業の件数 出一タ（専任手話通訳者、盲ろう者通訳・ガイドヘルパー、要約筆記者）

#### 専任手話通訳者

	個人	団体	計
<b>1月</b>	<b>239</b>	<b>6</b>	<b>245</b>
<b>2月</b>	<b>242</b>	<b>10</b>	<b>252</b>
<b>3月</b>	<b>250</b>	<b>4</b>	<b>254</b>
<b>総計</b>	<b>731</b>	<b>20</b>	<b>751</b>

#### 盲ろう者通訳・ガイドヘルパー

	個人	団体	計
<b>1月</b>	<b>12</b>	<b>1</b>	<b>13</b>
<b>2月</b>	<b>17</b>	<b>7</b>	<b>24</b>
<b>3月</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>10</b>
<b>総計</b>	<b>39</b>	<b>8</b>	<b>47</b>

#### 要約筆記者

	個人	団体	計
<b>1月</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>13</b>
<b>2月</b>	<b>11</b>	<b>6</b>	<b>17</b>
<b>3月</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>総計</b>	<b>17</b>	<b>13</b>	<b>30</b>

#### 編集後記

マスクが店頭から姿を消して、数か月が経ちました。生産工場では増産しているそうですが、まだまだ入手困難な状態が続いているます。

そんな中、インターネットや新聞の記事などで取り上げられているのが『手作りマスク』。

ガーゼ生地で作ったり、タオルハンカチやお手持ちのハンカチで作ったり、キッチンペーパーで作る方法も紹介されています。

自分の飛沫をまき散らさないなどの“咳工チケット”にはとても役に立ちますよね。

ないものを、あるもので代替(工夫)する。生きるための知恵ですね。



#### 貸出状況の出一タ

	貸出人数	貸出本数
<b>1月</b>	<b>42</b>	<b>15</b>
<b>2月</b>	<b>37</b>	<b>13</b>
<b>3月</b>	<b>3</b>	<b>1</b>
<b>総計</b>	<b>82</b>	<b>19</b>